

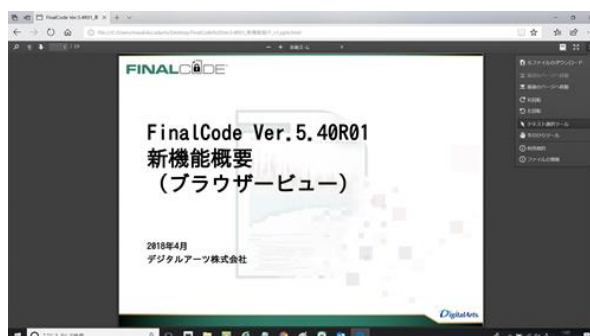
暗号化ファイルを受け取った社外ユーザーが クライアントソフト不要で閲覧可能な 「FinalCode®」Ver.5.4 を 4 月 26 日から提供開始 ～新機能「ブラウザービュー」搭載でブラウザーを通じた暗号化ファイル共有を実現～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下デジタルアーツ、証券コード 2326)は、企業・官公庁向けファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode(ファイナルコード)」において、暗号化ファイルを受け取った社外ユーザーがクライアントソフトをインストールする必要なく、暗号化ファイルを開覧できる「ブラウザービュー」機能を搭載した Ver.5.4 を、4 月 26 日からグローバルで同時に提供開始いたします。

IRM 製品はクライアント側でファイル制御を行っていることから、ファイルを暗号化する側と、暗号化ファイルを受け取る側の双方で、クライアントソフトをインストールする必要がありました。このため、社外へファイルを送る場合には、「社外ユーザーにもクライアントソフトのインストールを依頼する」、もしくは、それが難しい場合は「元ファイルをパスワード無しでそのまま送付する」、「元ファイルをパスワード付 ZIP ファイルにして送付する」、といった代替手段を取る必要がありました。しかしながら、これらの方法では、暗号化されていないファイルを社外に送ることで生じる情報漏洩のリスクが解決できませんでした。

デジタルアーツではこのような課題に対応するため、この度リリースする「FinalCode」Ver.5.4 に、社外ユーザーへ暗号化ファイルを送付する際、「FinalCode」のクライアントソフトがインストールされていないデバイスでも、ブラウザー上で暗号化ファイルを開覧することができる「ブラウザービュー」機能を搭載いたします。本機能は、無償で利用可能です。

「ブラウザービュー」に対応した暗号化ファイルはHTML形式で作成されるため、閲覧許可を受けた社外ユーザーは、専用のクライアントソフトをインストールする必要がなく、ブラウザー※1で暗号化ファイルを開覧できます。また、「ブラウザービュー」では、認証方式としてワンタイムパスワード認証を採用しており、ファイルを開覧する際の個人の特定も可能なため、なりすまし防止といったセキュリティ対策も万全です。「ブラウザービュー」機能対応の「FinalCode」Ver.5.4 の活用により、社外とセキュアに、かつ簡単にファイルの共有を行うことが可能となります。



＜「ブラウザービュー」対応の暗号化ファイルの作成画面と閲覧画面＞

PRESS RELEASE

「ブラウザービュー」対応の暗号化ファイルを作成するユーザーは、従来の「FinalCode」の操作感のまま作成でき、暗号化ファイルの操作権限※2を付与することができます。また操作ログの確認に加え、既に送付した暗号化ファイルに対しても、後からリモートでファイルの操作権限を変更することが可能です。この際、再度暗号化ファイルを送付する必要はありません。

今回の新機能「ブラウザービュー」は、製品情報や価格表といった機密性の高い情報を社外とやり取りする営業現場や、イベント参加者の名刺情報をデータ化するために外部委託先へ個人情報データを送付する場合、工場や建築現場など複数の企業同士で PDF 図面などの機密ファイルを共有する場合などに、セキュアに、かつ簡単に共有することができます。

デジタルアーツは今後もサイバー攻撃や内部からの情報漏洩対策として、ファイルのトレーサビリティや送ったファイルを後から消せる「FinalCode」の製品機能を強化し、より多くの企業における業務効率の向上と重要・機密ファイルの安全性の確保に貢献してまいります。

※1 Windows、macOS、iOS に対応している、弊社で動作検証済みの Web ブラウザーで閲覧可能です。詳しくは弊社 Web サイトをご確認ください。

※2 閲覧者/閲覧期限/回数の指定、元ファイル取り出しの可否、コピー&ペースト/画面透かしの可否、印刷/印刷透かしの可否、タグ・メッセージの付与

【「FinalCode」新機能の「ブラウザービュー」紹介ページ】

<http://www.finalcode.com/jp/jp/v54/>

以上

■ 「FinalCode」について <http://www.finalcode.com/jp/>

「FinalCode」はファイル暗号化・追跡ソリューション（ファイル暗号化ソフト）です。ファイル単位で指定した人やグループのみが閲覧できるように制限できるため、仮にファイルが流出しても中の情報は漏洩しません。また、いつでもリモートで権限変更や一括消去ができるため、ファイルが手元を離れた後も管理し続けることができます。しかも社外に暗号化したままファイルを渡す時でも、社外のユーザーに費用はかかりません。自社の重要な情報資産を社内から社外までボーダーレスにコントロールすることができる「FinalCode」は、様々な情報漏洩リスクにさらされる企業・組織に安心を提供します。

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初の Web フィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級の Web フィルタリングデータベースと、世界 27 の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇る Web フィルタリングソフトとして、家庭及び個人向け「i-FILTER」・企業向け「i-FILTER」「i-FILTER ブラウザー & クラウド」を提供する他、企業向けとしてゲートウェイ型電子メールセキュリティソフト「m-FILTER」、クライアント型電子メール誤送信防止ソフト「m-FILTER MailAdviser」、セキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、ARS、ActiveRatingSystem、ACTIVE RATING、ZBRAIN、D-SPA、SP-Cache、NET FILTER、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標又は登録商標です。FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。

※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の商標または登録商標です。
